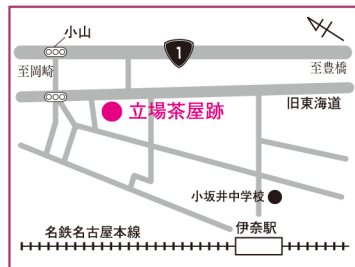




みつけた!



伊奈町の立場茶屋跡



JR小坂井駅から北へ1.3kmのところに、伊奈^{たてば}立場茶屋跡があります。立場とは、江戸時代に街道の宿場間に設けられた休憩所のこと、茶屋(茶などを提供する休息所)や売店が設けられていました。この付近は、江戸時代には吉田宿と御油宿の間の立場として栄えていました。

伊奈の立場茶屋は、貞享4(1687)年に保科肥後守正容が将軍の名代として京都に行くときに建てられたのが始まりで、その後数軒の茶屋が設けられたといわれます。この茶屋跡は最初の茶屋があった場所で、他の茶屋とは異なり、身分の高い人をもてなす格調高い茶屋であったそうです。寛延4(1751)年までには加藤家に引き継がれ、明治時代まで続きました。加藤家の茶屋では良香散^{りょうこうさん}という咳の薬が販売され、旅人がこの茶屋町一帯を良香散と呼んだほど、街道筋ではよく知られていたようです。

また、この茶屋跡には、松尾芭蕉の「かくさぬぞ 宿は菜汁に 唐が羅し」という句碑が建てられています。紹介掲示板もありますので、当時の様子を想像しながら訪れてみてください。

